

8. その他

その他の海生動物は、ゴカイ類、ホシムシ類等 **51 種**が確認されています。

クラゲ類は、**ハブクラゲ**、**ミズクラゲ**、**タコクラゲ**等の 4 種が確認されています。特に、**ハブクラゲ**は半透明のため、水中では見えにくいですが、長い触手の表面に強い毒をもっているため危険です。

ゴカイ類は、**イワムシ**や**ハナオレウミケムシ**等の 31 種が確認されています。特に、**ハナオレウミケムシ**等のウミケムシ類は、剛毛の中に毒をもっており、さわると刺されヒリヒリとした痛みを感じますので、素手でさわるのは危険です。

星口動物門は、**スジホシムシ**等の 6 種が確認されています。干潟等で半分埋まっているものを掘り返したときに比較的目に付く動物です。

また、海に生息する節足動物で**ヤマトウシオグモ**というクモの仲間がみられます。このクモは、干潮時に乾きやすい場所の転石の下に巣を作る特徴をもっています。クモの仲間は陸上に多く生息しているので、海に生息するヤマトウシオグモは特殊な生態をもったクモの仲間です

8. その他



ハブクラゲ

アンドンクラゲ目 アンドンクラゲ科

Chiropsalmus quadrigatus

大きさ：傘の直径7cm。

特徴：ほぼ立方体の傘に9本までの触手(腕)の束を4つもつ。色はくすんだ白から透明で、刺されると非常に危険。流れの穏やかな場所や濁った場所に多い。

分布：琉球列島：インド洋、フィリピン。

藻場



イラモ

カンムリクラゲ目 エフィクラゲ科

Stephanoscyphus racemosum

大きさ：群体10cm。

特徴：岩の上に生息し、一見すると海藻のように見えるが、クラゲの仲間。枝分かれをしており、先端はラッパのよう。色は薄い茶色。毒をもって刺されると痛む。

分布：和歌山県以南。

サンゴ



ミズクラゲ

ミズクラゲ目 ミズクラゲ科

Aurelia aurita

大きさ：傘の直径13cm。

特徴：円盤型で、下側に短い腕が4本ある。体の色は白色透明で上から見るとクローバーの模様がある。海面付近を漂っている。弱い毒をもつ。

分布：北海道請願以南：全世界に分布。

藻場



タコクラゲ

ミズクラゲ目 タコクラゲ科

Mastigias papua

大きさ：傘の直径15cm。

特徴：ドーム状の傘に8本のやや太い腕をもつ。色は薄い茶色から、白や青いものもある。傘には薄いオレンジ色の斑点が散らばる。流れの穏やかな場所に多い。

分布：茨城県、新潟県以南。

藻場

8. その他



ハナブサイソギンチャク

藻場

イソギンチャク目 ハナブサイソギンチャク科
Actinodendron arboreum

大きさ： 直径25cm。

特 徴： 体の色は茶色や灰色で、房状の長い腕をもつ。一見すると海藻やサンゴの仲間に見える。砂地に生息し、毒をもち刺されるとひどく痛む。

分 布： 沖縄以南。



ハナオレウミケムシ

干潟

ウミケムシ目 ウミケムシ科

Eurythoe complanata

大きさ： 体長5～15cm。

特 徴： 体は細長く、平たい。体色はピンク色で体の両側に長い毛をもつ。浅い海の砂地や転石の下にすむ。素手で触ると長い毛が刺さり、ひどく痛む場合がある。

分 布： 本州南部以南。



イワムシ

干潟

イソメ目 イソメ科

Marphysa sanguinea

大きさ： 体長5～30cm。

特 徴： 体は細長く、先端に数本の触角をもつ。岩場などに生息しており、釣り餌として利用される。

分 布： 全国。



スジホシムシ

干潟

ホシムシ目 スジホシムシ科

Sipunculus nudus

大きさ： 体長20cm。

特 徴： 体は細長くミズ状。体にはたくさんのスジが入り碁盤の目のような模様になる。浅い海の岩の下や砂中に生息する。

分 布： 全国。

8. その他



ヤマトウシオグモ

干潟

クモ目 ウシオグモ科

Desis japonica

大きさ: 体長8cm。

特徴: 体色はやや紫がかった灰色で、頭の先に二つの大きなアゴをもつ。潮間帯で転石を裏返すと隙間にクモの巣を張っている様子が観察される。

分布: 伊豆諸島、本州、九州、沖縄。

希少性: DD(環)



チャツボゴヤ

サンゴ

藻場

マメゴヤ目 ウスゴヤ科

Didemnum molle

大きさ: 高さ1~2cm。

特徴: 白っぽい丸いツボのような形をしており、頂上に大きな穴が1つ、体中に小さな穴がたくさん空く。サンゴ礁域にごく普通に見られる。

分布: 南西諸島:インド・西太平洋。